

未来を支える人材の育成に、一緒に取り組みませんか？

# 課題探求型インターンシップ

ご存知のように、現在の就職環境では、学生の「インターンシップ」参加がその後の応募に繋がるなど、就職活動に影響を及ぼす場合が多い状況です。この流れを重視し、本学でも、インターンシップの機会をさらに拡充させることで、学生の社会理解や企業理解を深めたいと考えております。また、インターンシップのプログラムを、単なる就業体験だけではなく、学生が大学で学んだ知識を元に、企業様が抱えておられる課題の発見・解決を目指すものとする事で、学生の能力向上に繋がりたいと考えております。このような「課題探求型(発見・解決)プログラム」は、企業様にとっても様々なメリットが期待されると確信しています。インターンシップ受け入れに、是非ともご協力をお願い申し上げます。

## 本学インターンシップの特徴

- ①就業体験を行うだけでなく、「課題解決」や「課題探究」の要素を入れたプログラムを実施しています。
- ②実習期間は教職員がWebを通じたモニタリングを実施しており、日々の学生の疑問にも対応しています。
- ③本学独自のルーブリックを用いて学生の評価をいただき、実習後に評価の摺り合せを実施しています。
- ④事前／事後学習を通じて、業界・業務の理解を深め、就職活動に向けた自己PRの作成まで指導しています。

## 課題探求型導入の目的

### 学生の自己評価能力を向上させる

インターンシップ実習時の目標と課題を自らが設定。またその自己評価を企業担当者や教員の評価と摺合せすることで、学生の主体性を育むとともに、「自己評価能力」を向上させます。

### 学修成果の可視化をすすめる

インターンシップ実習時は、独自のモニタリングシステムを用いて日々の振り返りや連絡を行います。また本学で、学生の学修成果を蓄積しているツールとして活用している「eポートフォリオ」や「WebClass」と連動させ、学修成果の「見える化」を進めます。

時期	実施項目	企業	学生	大学
4・5・6月	企業様との事前打ち合わせ	○	●	◎
5・6月	本学での参加学生募集・応募	●	◎	◎
6・7月	インターンシップ参加学生の決定・覚書等手続き	○	●	◎
7月	本学での事前学習（4コマ）実施	●	◎	◎
7月	評価表（ルーブリック）・モニタリング等の事前説明	○	●	◎
8・9月	インターンシップスタート（学生モニタリング）※	◎	◎	◎
9月	企業様からの評価と、評価の摺合せ	◎	●	◎
9月・10月	本学での事後学習（3コマ）実施	●	◎	◎
10月・11月	インターンシップ全体報告会・意見交換会	○	◎	◎

※ インターンシップに関わる交通費等は学生負担となります。また全学生が学研災付帯賠償責任保険に加入しています。

関西国際大学の課題探求型インターンシップは、5～10日間の就業体験を通じ、あらかじめ設定した課題に対し解決方法を探っていくものとなります。実施日程や評価項目、またどのような課題を設定するか等については、事前に担当教員が入念に相談をさせていただきます。

## 企業様のメリット

関西国際大学の課題探求型インターンシップは、学生の能力向上や就業意欲の向上に効果があるだけでなく、企業様にも多くのメリットがあります。インターンシップを通じ、学生の柔軟な発想を活用することで、企業活動が活性化し、また人事評価の改善や人材育成にも効果が期待されます。

### メリット①

#### 労働力として貢献し職場を活性化

企業様のニーズと学生の希望や能力を考慮してマッチングを行い、入念な打ち合わせの上に実施するため、モチベーションの高い学生が職場の労働力となることが期待できます。また学生は、雑用にこそヒントやチャンス、そして学びがあると理解し業務に従事するため、学生の柔軟な発想や姿勢が、実習現場である職場を活性化させることが考えられます。

### メリット③

#### 学生に対する企業理解の深化

受け入れ企業様のリストを全学生で共有し、告知や説明を行うことから、特に県内の中小企業の皆様にとっては、その認知度向上や魅力発信において確実な効果が期待されます。また、参加学生の発表や報告会を通じて、全学生が、地元の企業様の業務や社会的役割を理解する機会にも繋がります。

### メリット②

#### 若手リーダーの育成と人事評価の改善

インターンシップ受け入れには企業様のご負担いただく側面もございますが、担当者として若手のリーダー候補を任命いただくことで、実習中のやり取りを通じ、若手の人材育成に効果が期待されます。また、学生の評価に対する本学の教員との招合せの機会を通じ、大学の教育や評価への理解が深まり、新卒募集の評価観、評価項目の見直しや、より効果的な人事考課の策定にも繋がります。

### メリット④

#### 安定的な人材の確保とミスマッチの解消

近年の売り手市場や、就職・求人情報の過多により学生が企業様を知る機会は限りなく少なくなっていますが、受け入れ企業様の魅力発信や、実習生の存在が、将来の安定的な人材確保に繋がります。また内定辞退率の低下、就職後の早期離職(ミスマッチ)防止にも効果があると考えられます。

## 課題探求型インターンシップ事例

### ホテルで課題を学生と解決

兵庫のリゾートホテルにて、9月に15日間、複数の部門にて就業体験を行いつつ、授業で学んだマーケティングの知識を生かして、ホテル内の課題とその改善策を検討。最終的には、「家族連れのリピーター増加の施策」について具体例を用いて提案発表。その後、学生は卒業論文のテーマとしてさらに探求を深め、ホテルでもその改善案が採用され、リピーターの増加、稼働率の向上に成果を上げた。

